

収穫共済損害評価関係書類様式目録

	事 項	書 類 名		様 式 番 号	提 出 先		提出期日	転送 データ
組 合 員 等	損 害 通 知	半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式	損害通知書	例1号の1	組合等 組合等 組合等 組合等 組合等		収穫期 前の組合 等が定め る期日	
		半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式	損害通知書	例1号の2				
		半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式	事故発生通知(損傷歩合調査)	例1号の2の(1)				
		半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式	事故発生通知(落果数調査)	例1号の2の(2)				
		全相殺方式	損害通知書	例1号の3				
		災害収入共済方式	損害通知書	例1号の4				
特 定 組 合 以 外 の 組 合 等	基 準 収 穫 量 等	半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式	基準収穫量設定経過表	例2号の1	連合会 連合会 3 連合会 3 連合会 3 連合会 3	連合会、(都道府県)、農林水産省 連合会、(都道府県)、農林水産省 連合会、(都道府県)、農林水産省 連合会、(都道府県)、農林水産省	作成した とき	有 有 有
		半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式	基準収穫量設定経過表(着果数悉皆調査野帳・農家申告着果数抜取調査野帳)	例2号の2				
		全相殺方式	基準収穫量設定経過表	例2号の3				
		災害収入共済方式	基準収穫量設定経過表	例2号の4				
		基準収穫量設定指数表		例3号				
		半相殺方式・全相殺方式	基準収穫量設定結果報告書	4号の1				
		災害収入共済方式	基準収穫量設定結果報告書	4号の2				
		樹園地単位方式	基準収穫量設定結果報告書	4号の3				
		現 地 						

事 項	書 類 名	様 式 番 号	提 出 先	提出期日	転送 データ
特定組合以外の組合等	保険金請求書 半相殺減収総合方式 損害評価書 半相殺特定危険方式 損害評価書 全相殺方式 損害評価書 災害収入共済方式 損害評価書 樹園地減収総合方式 損害評価書 樹園地特定危険方式 損害評価書 最終決定の評価高(修正を受けたとき)	11号の(1) 10号の1 10号の2 10号の3 10号の4 10号の5 10号の6 9号の1、同号の2、 同号の3、同号の4、同 号の5又は同号の6	連合会2 連合会、(都道府県)、農林水産省(3) 異常災害組合等のみ) 連合会3 連合会、(都道府県)、農林水産省 連合会3 連合会、(都道府県)、農林水産省 連合会3 連合会、(都道府県)、農林水産省 連合会3 連合会、(都道府県)、農林水産省 連合会3 連合会、(都道府県)、農林水産省 連合会3 連合会、(都道府県)、農林水産省 連合会2 連合会、(都道府県)	共済金支払額を決定したとき	有 有 有 有 有 有 有 有
	保険金仮渡請求書 半相殺方式・全相殺方式 仮損害評価書 樹園地単位方式 仮損害評価書	18号の(1) 17号の1 17号の2	連合会2 連合会、(都道府県)、農林水産省(3) 異常災害組合等のみ) 連合会2 連合会、(都道府県)、農林水産省(3) 異常災害組合等のみ) 連合会2 連合会、(都道府県)、農林水産省(3) 異常災害組合等のみ)	連合会が定める期日	
	保険金追加請求書 損害評価書 最終決定の評価高(修正を受けたとき)	19号の(1) 10号の1、同号の2、 同号の3、同号の5又は 同号の6 9号の1、同号の2、 同号の3、同号の5又は 同号の6	連合会2 連合会、(都道府県)、農林水産省(3) 異常災害組合等のみ) 連合会3 連合会、(都道府県)、農林水産省 連合会2 連合会、(都道府県)	共済金支払額を決定したとき	有 有
特定組合	基準収量 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式 基準収量設定経過表 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 基準収量設定経過表(着果数悉皆調査野帳・農家申告着果数抜取調査野帳) 全相殺方式 基準収量設定経過表 災害収入共済方式 基準収量設定経過表 基準収量設定指数表 半相殺方式・全相殺方式 基準収量設定結果報告書 災害収入共済方式 基準収量設定結果報告書 樹園地単位方式 基準収量設定結果報告書	例2号の1 例2号の2 例2号の3 例2号の4 例3号 4号の1 4号の2 4号の3	2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省	作成したとき	有 有 有

	事 項	書 類 名	様 式 番 号	提 出 先	提出期日	転送 データ
特 定 組 合	現 地 評 価 等	半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式 損害評価野帳(減収総合悉皆調査等(検見調査)) 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式 損害評価野帳(減収総合悉皆調査等(実測調査)・抜取調査) 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 損害評価野帳(特定危険悉皆調査等(検見調査)) 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 損害評価野帳(特定危険悉皆調査等(実測調査)・抜取調査)(損傷歩合調査) 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 損害評価野帳(特定危険悉皆調査等(実測調査)・抜取調査)(落果数調査) 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 損害評価野帳(特定危険悉皆調査等(実測調査)・抜取調査)(着果数調査) 全相殺方式 損害評価野帳(出荷数量調査) 災害収入共済方式 損害評価野帳(出荷数量調査) 全相殺方式・災害収入共済方式 全相殺等樹園地調査野帳(抜取調査野帳) 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 損害評価野帳取りまとめ表(特定危険悉皆調査等・抜取調査) 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式 組合等抜取調査野帳取りまとめ表(平均修正率計算表) 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 組合等抜取調査野帳取りまとめ表(平均修正率計算表) 全相殺方式・災害収入共済方式 全相殺等樹園地抜取調査野帳取りまとめ表 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式 損害評価取りまとめ表 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 損害評価取りまとめ表 全相殺方式 損害評価取りまとめ表 災害収入共済方式 損害評価取りまとめ表	例1号の1 例5号の1 例1号の2 例1号の2の(1) 例1号の2の(2) 例5号の2 例1号の3 例1号の4 例5号の3 例5号の4 例6号の1 例6号の2 例6号の3 例7号の1の(2) 例7号の2の(2) 例7号の3 例7号の4	2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省	第1章第5節第1の1の(2)のウの(イ)に定める期日	
	損 害 通 知	半相殺方式・全相殺方式・災害収入共済方式 速報 樹園地単位方式 速報 半相殺減収総合方式 当初評価高報告書 半相殺特定危険方式 当初評価高報告書 全相殺方式 当初評価高報告書 災害収入共済方式 当初評価高報告書 樹園地減収総合方式 当初評価高報告書 樹園地特定危険方式 当初評価高報告書 半相殺方式・全相殺方式・災害収入共済方式 特定組合当初評価高報告書集計表(分割評価) 樹園地単位方式 特定組合当初評価高報告書集計表(分割評価) 半相殺方式・全相殺方式・災害収入共済方式 共済金支払対象組合員等の損害割合別及び調整割合別集計表 樹園地単位方式 共済金支払対象樹園地の損害割合別及び調整割合別集計表 災害収入共済方式 実施組合等の区域における農業協同組合等の生産金額等調査表 災害収入共済方式 実施組合等の区域における農業協同組合等の控除科目等調査表	8号の1 8号の2 9号の1 9号の2 9号の3 9号の4 9号の5 9号の6 14号の8の(1) 14号の8の(2) 14号の9の(1) 14号の9の(2) 14号の10 14号の11	3 (都道府県)、地方農政局統計部等、農林水産省 3 (都道府県)、地方農政局統計部等、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省	災害発生 の都度 第1章第5節第1の1の(2)のウの(イ)、同第1の2の(2)のウの(イ)又は同第1の3の(2)のウの(イ)に定める期日	有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有 有
	保 険 金 請 求	保険金請求書 半相殺減収総合方式 損害評価書 半相殺特定危険方式 損害評価書 全相殺方式 損害評価書 災害収入共済方式 損害評価書 樹園地減収総合方式 損害評価書 樹園地特定危険方式 損害評価書 最終決定の評価高(修正を受けたとき)	11号の(2) 10号の1 10号の2 10号の3 10号の4 10号の5 10号の6 9号の1、同号の2、 同号の3、同号の4、同 号の5又は同号の6	3 (都道府県)、農林水産省 2 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省	共済金支払額を決定したとき	有 有 有 有 有 有 有 有

	事 項	書 類 名	様 式 番 号	提 出 先	提出期日	転送 データ
特 定 組 合	保 險 金 概 算 払 請 求	保険金概算払請求書 半相殺方式・全相殺方式 仮損害評価書 樹園地単位方式 仮損害評価書	18号の(2) 17号の1 17号の2	3 (都道府県)、農林水産省 2 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省	農林水産省 と協議の上 定めた期日	
		保 險 金 追 加 請 求	保険金追加請求書 損害評価書 最終決定の評価高(修正を受けたとき)	19号の(2) 10号の1、同号の2、 同号の3、同号の5又は 同号の6 9号の1、同号の2、 同号の3、同号の5又は 同号の6		
	基 準 収 穫 量 等	半相殺方式・全相殺方式 基準収穫量設定結果報告書 災害収入共済方式 基準収穫量設定結果報告書 樹園地単位方式 基準収穫量設定結果報告書	12号の1 12号の2 12号の3	2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省 2 (都道府県)、農林水産省	作成した とき	有 有 有
連 合 会	損 害 通 知	半相殺方式・全相殺方式・災害収入共済方式 速報	13号の1	3 (都道府県)、地方農政局統計部等、 農林水産省		
		樹園地単位方式 速報	13号の2	3 (都道府県)、地方農政局統計部等、 農林水産省		
		半相殺減収総合方式 当初評価高報告書	14号の1	2 (都道府県)、農林水産省		
		半相殺特定危険方式 当初評価高報告書	14号の2	2 (都道府県)、農林水産省		
		全相殺方式 当初評価高報告書	14号の3	2 (都道府県)、農林水産省		
		災害収入共済方式 当初評価高報告書	14号の4	2 (都道府県)、農林水産省		
		樹園地減収総合方式 当初評価高報告書	14号の5	2 (都道府県)、農林水産省		
		樹園地特定危険方式 当初評価高報告書	14号の6	2 (都道府県)、農林水産省		
		半相殺方式・全相殺方式 組合等別連合会当初評価高報告書	14号の7の(1)	2 (都道府県)、農林水産省		
		樹園地単位方式 組合等別連合会当初評価高報告書	14号の7の(2)	2 (都道府県)、農林水産省		
		半相殺方式・全相殺方式 組合等別連合会当初評価高報告書集計表	14号の7の(3)	2 (都道府県)、農林水産省		
		樹園地単位方式 組合等別連合会当初評価高報告書集計表	14号の7の(4)	2 (都道府県)、農林水産省		
		災害収入共済方式 組合等別連合会当初評価高報告書	14号の7の(5)	2 (都道府県)、農林水産省		
		半相殺方式・全相殺方式・災害収入共済方式 組合等別連合会当初評価高報告書集計表(分割評価)	14号の8の(1)	2 (都道府県)、農林水産省		
		樹園地単位方式 組合等別連合会当初評価高報告書集計表(分割評価)	14号の8の(2)	2 (都道府県)、農林水産省		
半相殺方式・全相殺方式・災害収入共済方式 共済金支払対象組合員等の損害割合別及び調整割合別集計表	14号の9の(1)	2 (都道府県)、農林水産省				
樹園地単位方式 共済金支払対象樹園地の損害割合別及び調整割合別集計表	14号の9の(2)	2 (都道府県)、農林水産省				
災害収入共済方式 実施組合等の区域における農業協同組合等の生産金額等調査表	14号の10	2 (都道府県)、農林水産省				
災害収入共済方式 実施組合等の区域における農業協同組合等の控除科目等調査表	14号の11	2 (都道府県)、農林水産省				

	事 項	書 類 名	様 式 番 号	提 出 先	提出期日	転送 データ
連 合 会	再 保 險 金 請 求	再保険金請求書	16号	3 (都道府県)、農林水産省 2	保険金支払額を決定したとき	有 有 有 有 有 有 有 有 有 有
		半相殺減収総合方式 損害評価書	15号の1	2 (都道府県)、農林水産省		
		半相殺特定危険方式 損害評価書	15号の2			
		全相殺方式 損害評価書	15号の3			
		災害収入共済方式 損害評価書	15号の4			
		樹園地減収総合方式 損害評価書	15号の5			
		樹園地特定危険方式 損害評価書	15号の6			
		組合等の保険金請求書	11号の(1)	2 (都道府県)、農林水産省(異常災害組合等のみ)		
		組合等の損害評価書	10号の1、同号の2、 同号の3、同号の4、同 号の5又は同号の6	2 (都道府県)、農林水産省		
		最終決定の評価高(修正を受けたとき)	14号の1、同号の2、 同号の3、同号の4、同 号の5又は同号の6	2 (都道府県)、農林水産省		
再 保 險 金 概 算 払 請 求	再保険金概算払請求書	21号の1	3 (都道府県)、農林水産省 2	農林水産省と協議の上定めた期日		
	再保険金概算払請求額の算出基礎	21号の2				
	半相殺方式・全相殺方式 仮損害評価書	20号の1				
	樹園地単位方式 仮損害評価書	20号の2				
	組合等の保険金仮渡請求書	18号の(1)	2 (都道府県)、農林水産省(異常災害組合等のみ)			
	半相殺方式・全相殺方式 組合等の仮損害評価書	17号の1				
樹園地単位方式 組合等の仮損害評価書	17号の2					
再 保 險 金 追 加 請 求	再保険金追加請求書	22号	3 (都道府県)、農林水産省 2	保険金支払額を決定したとき	有 有 有 有 有 有	
	損害評価書	15号の1、同号の2、 同号の3、同号の5又は 同号の6	2 (都道府県)、農林水産省			
	組合等の保険金追加請求書	19号の(1)	2 (都道府県)、農林水産省(異常災害組合等のみ)			
	組合等の損害評価書	10号の1、同号の2、 同号の3、同号の5又は 同号の6	2 (都道府県)、農林水産省			
	最終決定の評価高(修正を受けたとき)	14号の1、同号の2、 同号の3、同号の5又は 同号の6	2 (都道府県)、農林水産省			

(注意) 「転送データ」とは、果樹共済システムにより作成された磁気データをいう。

(様式例[㊦]第1号の1)

平成 年産 收穫共済 半相殺減収総合方式、樹園地減収総合方式（樹種名 ）組合員等損害通知書、損害評価野帳（減収総合悉皆調査等（検見調査））

提出期限（平成 年 月 日）

受付年月日 (平成 年 月 日)

[illegible]

(A4判 横)

(農家の記入についてのお願い)

- 1 この通知書は、共済事故が発生した場合又は共済事故により、類区分ごとに共済金の支払対象となる損害（半相殺方式にあつては3割、樹園地単位方式にあつては4割を超える損害）があると思われる場合は、「共済事故等による種別」欄の該当方式に○印を付し、その共済事故を受けた樹園地のみについて、※印のついた欄に記入の上、願ひした期日までに提出して下さい。なお、樹種ごとに別葉にして提出して下さい。
- 2 「災害の種類」欄は、例えば風水害、寒害などと具体的に記入して下さい。
- 3 「被害状況」欄は、甚・中・軽の中から該当する状況に○を付けて下さい。
- 4 類区分により収穫期が相当異なる場合は、その類区分ごとに損害通知を分けて行つても差し支えありません。

(注意)

- 1 見回り調査等から共済金支払対象となると思われる組合員等が判明している場合は、組合等は、損害評価の前までに、原則として引受時に確定した情報について記入した損害評価野帳を組合員等に配布し、所要事項が記入された損害評価野帳を組合員等から提出させること。
- 2 「農家申告収穫量採取調査の結果」欄は、半相殺方式の場合であつて、農家申告収穫量採取調査により損害評価を行った場合に記入すること。
- 3 修正率及び分割減収量推定率は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

(様式例第1号の2)

平成 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 (樹種名) 組合員等損害通知書・損害評価野帳 (特定危険悉皆調査等 (検見調査))

提出期限 (平成 年 月 日)

受付年月日 (平成 年 月 日)

共済事故等による種別	半相殺暴風雨方式	半相殺ひょう害方式	半相殺凍害方式	半相殺暴風雨・ひょう害方式	半相殺暴風雨・ひょう害・凍害方式																				
樹園地暴風雨方式	樹園地ひょう害方式	樹園地凍害方式	樹園地暴風雨・ひょう害方式	樹園地暴風雨・ひょう害・凍害方式	樹園地暴風雨・ひょう害・凍害方式	災害 (共済事故) 発生回数	回目	共済番号	組合員等氏名	評価地区名	組合等名	野帳枚数	枚のうち枚												
類区分	引受状況					損害通知					現地評価 (特定危険悉皆調査等) の結果					農家申告収穫量採取調査の結果									
	樹園地の地名	細区分	品種	樹齢	引受面積	引受本数	災害の種類	災害発生年月日	申告落果数等	被害状況	摘果終了又は収穫開始予定年月日	農家申告採取調査を行う場合の樹園地 (○印)	特定危険悉皆調査等見込落果数等	分割減収果数 (又は分割減収歩合)	分割事由	評価年月日	評価者印	調査該当樹園地に係る①の計	②の計	修正率⑥=⑤/④×100	見込落果数等⑦=①×⑥	落果 (又は着果) 被害果実数⑧	落果 (又は着果) 調整果実数⑨	分割減収量推定率⑩=③/②×100	分割減収果数 (又は分割減収歩合) ⑪=⑩×⑨
類		群		年	a	本	※	※	※①	※	年月日		粒 (%)	粒 (%)		年月日		粒 (%)	粒 (%)	%	粒 (%)	粒	粒	%	粒 (%)
		小計																							
		小計																							
		計																							
類																									
		計																							
合		計																							

(A4判 横)

(農家の記入についてお願い)

- 共済事故の発生の都度、その共済事故による被害があると思われる場合又は収穫期にその共済事故により類区分ごとに共済金の支払対象となる損害 (半相殺方式にあつては2割、樹園地単位方式にあつては3割を超える損害) があると思われる場合は、「共済事故等による種別」欄の該当方式に○印を付し、その共済事故を受けた樹園地のみについて、※印を付した項目に従い記入の上、お願いした期日までに提出して下さい。
- 「災害の種類」欄は、例えばひょう害、暴風雨などと具体的に記入して下さい。「申告落果数等」欄は摘果終了時前にあつては減収歩合、摘果終了時にあつては着果数、摘果終了時後収穫期前にあつては落果数、収穫期にあつては着果数を記入して下さい。なお、この場合の減収歩合は、災害により被害を受けて枯死した花 (果) そう数、新梢数などから見積った果実の減収歩合 (%) をいいます。
- 「被害状況」欄は、甚・中・軽の中から該当する状況に○を付けて下さい。
- 類区分により収穫期が相当異なる場合は、その類区分ごとに損害通知を分けて行つても差し支えありません。

(注意)

- 見回り調査等から被害があつたと思われる組合員等が判明している場合は、組合等は、損害評価の前までに、原則として引受時に確定した情報について記入した損害評価野帳を組合員等に配布し、所要事項が記入された損害評価野帳を組合員等から提出させること。
- 摘果終了時前の災害発生の状況に注意し、すべての災害が発生した場合には、その都度現地評価を行うこととし、災害の種類、災害発生年月日及び被害状況を「損害通知」欄の該当欄に記入すること。
- 「災害 (共済事故) 発生回数」欄は、摘果終了時前と摘果終了時後収穫期に分けて発生順に通し番号を付すること。「特定危険悉皆調査等見込落果数等」欄は、摘果終了時前にあつては減収歩合、摘果終了時にあつては着果数、摘果終了時後収穫期前にあつては減収果実数、収穫期にあつては着果数を記入すること。
- 「農家申告落果数等採取調査の結果」欄は、半相殺方式の場合であつて、農家申告落果数等採取調査により現地評価を行つた場合に記入すること。
- 修正率及び分割減収量推定率は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

平成 年産 收穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 (樹種名) 組合員等事故発生通知書・損害評価野帳 (特定危険悉皆調査等 (実測調査)・抜取調査)
(発芽 (開花) ~ 摘果終了時前: 損傷歩合調査)

受付年月日 (平成 年 月 日)

(A 4判 横)

- 1 見回り調査等から被害があつたと思われる組合員等が判明している場合は、組合等は、損害評価の前までに、原則として引受時に確定した情報について記入した損害評価野帳を組合員等に配布し、所要事項が記入された損害評価野帳を組合員等から提出させること。
- 2 摘果終了時前の災害発生の状況に注意し、すべての災害が発生した場合には、その都度現地評価を行うこととし、災害の種類、災害発生年月日及び被害状況を「事故発生通知」欄の該当欄に記入すること。
- 3 「災害発生回数」欄は、摘果終了時前までに発生した災害及び共済事故について発生順に通し番号を付すること。
- 4 「農家申告落果数等抜取調査の結果」欄は、半相殺方式の場合であつて、農家申告落果数等抜取調査により現地評価を行つた場合に記入すること。「損傷歩合調査の結果」欄は、特定危険悉皆調査等により把握した損傷歩合を記入すること。
- 5 修正率及び分割収歩合推定率は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

(様式例第1号の2の(2))

平成 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 (樹種名) 組合員等事故発生通知書・損害評価野帳 (特定危険悉皆調査等 (実測調査)・抜取調査)
(摘果終了時～収穫期:落果数調査)

提出期限 (平成 年 月 日)															受付年月日 (平成 年 月 日)																																						
共済事故等による種別		半相殺暴風雨方式		半相殺ひょう害方式		半相殺凍霜害方式		半相殺暴風雨・ひょう害方式		半相殺暴風雨・ひょう害・凍霜害方式		野帳枚数		枚のうち枚																																							
樹園地暴風雨方式		樹園地ひょう害方式		樹園地凍霜害方式		樹園地暴風雨・ひょう害方式		樹園地暴風雨・ひょう害・凍霜害方式				組合員等氏名		評価地区名		階層区分名		組合等名																																			
引受状況		引受面積		引受本数		災害の種類		災害発生年月日		共済事故発生回数		申告落果数①		植栽本数②		着果本数③		農家申告抜取調査を行う場合の樹園地(〇印)		落果数調査の結果		総落果数⑩ = ⑦ × ②		落果被害果実数⑪ = ⑩ × ③		落果調整果実数⑫ = ⑩ × ④		分割減収果数⑬		分割事由		評価年月日		評価者印		農家申告落果数等調査の結果		調査該当樹園地に係る①の計⑭		⑮の計		修正率⑯ = ⑬ / ⑭ × 100		落果数⑰ = ⑪ × ①		落果被害果実数⑱ = ⑰ × ③		落果調整果実数⑲ = ⑱ × ④		分割減収果数推定率⑳ = ⑲ / ⑱ × 100		分割減収果数㉑ = ⑲ × ㉒	
類	樹園地名番	細区分	品種	樹齢	引受面積	引受本数	災害の種類	災害発生年月日	共済事故発生回数	申告落果数①	植栽本数②	着果本数③	農家申告抜取調査を行う場合の樹園地(〇印)	標本樹体(区画)・集積か所番号	1	2	3	4	n	計	平均	総落果数⑩ = ⑦ × ②	落果被害果実数⑪ = ⑩ × ③	落果調整果実数⑫ = ⑩ × ④	分割減収果数⑬	分割事由	評価年月日	評価者印	調査該当樹園地に係る①の計⑭	⑮の計	修正率⑯ = ⑬ / ⑭ × 100	落果数⑰ = ⑪ × ①	落果被害果実数⑱ = ⑰ × ③	落果調整果実数⑲ = ⑱ × ④	分割減収果数推定率⑳ = ⑲ / ⑱ × 100	分割減収果数㉑ = ⑲ × ㉒																	
類		群	年	a	本		年月日	回目	粒	本	本		1樹(集積か所)の落果数	粒						③(④粒)	⑦	粒	粒	粒	粒	年月日		粒	粒	%	粒	粒	粒	%	粒																		
													歩合	落果被害果実数	粒					⑤	⑧=③/④×100%																																
													調査	落果調整果実数	粒					⑥	⑧=③/④×100%																																
													1樹(集積か所)の落果数	粒																																							
													歩合	落果被害果実数	粒																																						
													調査	落果調整果実数	粒																																						
		小計																																																			
		小計																																																			
		小計																																																			
類																																																					
合		計																																																			

(A4判 横)

(注意)

- 見回り調査等から被害があったと思われる組合員等が判明している場合は、組合等は、損害評価の前までに、原則として引受時に確定した情報について記入した損害評価野帳を組合員等に配布し、所要事項が記入された損害評価野帳を組合員等から提出させること。
- 「事故発生通知」欄は、農家からの聞き取りにより記入すること。また、「共済事故発生回数」欄は、摘果終了時後収穫期前までに発生した共済事故について発生順に通し番号を付すること。「落果調査の結果」欄は、特定危険悉皆調査等により把握した落果数を記入すること。
- 「落果数調査の結果」の「計」欄の「(④粒)」は、標本樹のうち歩合調査に係る標本樹の落果数の合計を記入すること。
- 「総落果数」、「落果被害果実数」及び「落果調整果実数」欄は、落果集積か所別調査を行った場合には、「落果数調査の結果」の「計」欄から転記すること。
- 「農家申告落果数等抜取調査の結果」欄は、半相殺方式の場合であつて、農家申告落果数等抜取調査により現地評価を行った場合に記入すること。
- 修正率及び分割減収果数推定率は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

(様式例⑩第1号の3)

平成 年産 収穫共済 全相殺方式 (樹種名) 組合員等損害通知書・損害評価野帳 (出荷数量調査)

提出期限 (平成 年 月 日)

受付年月日 (平成 年 月 日)

共済事故等 による種別		減収総合方式 品質方式												共済 番号		組合員等 氏名		評 価 地区名		組合 等名		評価 者印			
類 区 分	引 受 状 況						損 害 通 知					出 荷 数 量 調 査 の 結 果													
	樹園地の 地名地番	細区 分	品種	樹齡	引受	引受	災害の 種類	災害発生 年月日	見込収 穫量	被害状況	収穫開始 予定年月 日	出荷 先機 関名	出 荷 期 間	出荷 伝票 枚数	出 荷 数 量 等										
					面積	本数									※	※	※	※	※	※	計 ⑤ ①+(②-③)+③× 調整係数+④	品質方 式 ① + ②+④	自家用 ・贈答 用の数 量 ⑥	貯蔵中 の減耗 数量 ⑦	計 ⑧=⑤+ ⑥+⑦
類		群		年	a	本		年月日	kg	甚・中・軽	年月日	月 日 ~ 月 日	枚	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg			
		小 計																							
		小 計																							
		計																							
		計																							
類																									
		計																							
合		計																							

(A 4 判 横)

(農家の記入についてのお願い)

- 共済事故が発生した場合又は共済事故により類区分ごとに共済金の支払対象となる損害 (2割を超える損害) があると思われる場合に、「共済事故等による種別」欄の該当する方式に○印を付して※印のついた欄に記入の上、
お願いした期日までに提出して下さい。
なお、記入に当たっては全樹園地について行ってください。この場合、災害がない樹園地の「災害の種類」欄には「被害なし」と記入し、「見込収穫量」及び「収穫開始予定年月日」欄についても記入して下さい。
- 「災害の種類」欄は、例えば風水害、寒害などと具体的に記入して下さい。
- 「被害状況」欄は、甚・中・軽の中から該当する状況に○を付けて下さい。

(注意)

- 見回り調査等から共済金支払対象となると思われる組合員等が判明している場合は、組合等は、損害評価の前までに、原則として引受時に確定した情報について記入した損害評価野帳を組合員等に配布し、所要事項が記入された損害評価野帳を組合員等から提出させること。
- 「出荷数量等」欄は、小数点以下第1位を四捨五入して整数位まで記入すること。

(様式例⑩第1号の4)

平成 年産 収穫共済 災害収入共済方式（樹種名 ）組合員等損害通知書・損害評価野帳（出荷数量調査）

提出期限（平成 年 月 日）

受付年月日（平成 年 月 日）

共済 番号		組合員等 氏名		評 価 地区名		組合 等名		評価 者印																				
引 受 状 況					損 害 通 知					分割		見直		出 荷 数 量 調 査 の 結 果														
樹園地 の地名 地番	細区 分	品種	樹齢	引受 面積	災害 の種 類	災害発 生年月 日	見込 収穫 量	被害状況	収穫開 始予定 年月日	減収 量	し後 の分 割減 収量	出荷 先機 関名	出荷 期間	出荷 伝票 枚数	出 荷 数 量 等								生 産 金 額					
															生食 用仕 向数	加工 用仕 向数	その 他仕 向数	計 ⑥=③+ ④+⑤	自家用 ・贈答 用の数 ⑦	貯蔵中 の減耗 数量 ⑧	計 ⑨=⑥+ ⑦+⑧	販売 金額 ⑩	農協等の 控除する 必要経費 ⑪	農家手 取り金 額 ⑫ = ⑩-⑪	1 kg 当 たりの農 家手取 り金額 ⑬=⑫/⑥	出荷以外 の金額 ⑭=(① 又は②+⑦+ ⑧)×⑬	生産金額 ⑮=⑫+⑭	
	群		年	a		年月日	kg	甚・中・ 軽	年月日	kg	kg		月日~ 月日	枚	kg	kg	kg	kg	kg	kg	円	円	円	円	円	円		
	計																											
	計																											
	計																											
合	計																											

(A4判 横)

(農家の記入についてのお願い)

- 1 共済事故が発生した場合又は共済事故により収穫共済の共済目的の種類ごとに果実の減収又は品質の低下があると思われる場合に、「引受状況」及び「損害通知」の※印のついた欄に記入の上、お願いした期日までに提出して下さい。
- なお、記入に当たっては全樹園地について行ってください。この場合、災害がない樹園地の「災害の種類」欄には「被害なし」と記入し、「見込収穫量」及び「収穫開始予定年月日」欄についても記入して下さい。
- 2 「災害の種類」欄は、例えば風水害、寒害などと具体的に記入して下さい。
- 3 「被害状況」欄は、甚・中・軽の中から該当する状況に○を付けて下さい。

(注意)

- 1 見回り調査等から共済金支払対象となると思われる組合員等が判明している場合は、組合等は、損害評価の前までに、原則として引受時に確定した情報について記入した損害評価野帳を組合員等に配布し、所要事項が記入された損害評価野帳を組合員等から提出させること。
- 2 「分割減収量」欄は、全相殺等樹園地調査野帳（様式例第5号の3）から転記すること。
- 3 「見直し後の分割減収量」欄は、全相殺等樹園地抜取調査により全相殺等樹園地調査による分割減収量が適切でないとして、再評価した場合の分割減収量を記入すること。
- 4 「出荷数量等」欄は、小数点以下第1位を四捨五入して整数位まで記入すること。生産金額の記入単位は円とし、円未満の端数は四捨五入すること。

(様式例第2号の1)

平成 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式（樹種名 ）基準収穫量設定経過表

共済事故等 による種別												共済 番号	組合員 等氏名		
類 区 分	樹園 地の 地名 地番	細 区 分	品種	樹 齢	引受 面積	引受 本数	標準 収穫 量 ①	基準収穫量設定指数			損害評価 実績によ る修正係 数⑤	高接ぎ 等によ る修正 係数⑥	1-（責任 期間外の 被害割 合）⑦	基準収穫量 ⑧=①×②× ③×④×⑤× ⑥×⑦	調整割合 ⑨= ⑧ Σ (⑩×⑥×⑦)
								園地条 件指数 ②	肥培管 理指数 ③	隔年結 果指数 ④					
類		群		年	a	本	kg							kg	
		小 計													
		計													
合 計															

参 考		損害評価実績（実収穫量又は減収率）					備 考	
類区分	樹園地の地名 地番	細区分	年産	年産	年産	年産	年産	
類		群	kg (%)	kg (%)	kg (%)	kg (%)	kg (%)	
		小 計						
		計						
		合 計						

(A4判 縦)

(注意)

- 「共済事故等による種別」欄は、該当方式名を記入すること。
- 「標準収穫量①」欄は、引受要綱第2章第1節第1の4の（1）の数量とする。
- 「損害評価実績（実収穫量又は減収率）」欄は、最近5年間の損害評価実績による実収穫量又は減収率を記入すること。この場合、損害評価実績がない年産については、当該年産の基準収穫量（減収率の場合は0）を記入すること。
- 「損害評価実績による修正係数」欄、「高接ぎ等による修正係数」欄、「1-（責任期間外の被害割合）」欄、「調整割合」欄及び「損害評価実績」欄における減収率は、小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位まで記入すること。

(様式例第2号の2)

平成 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 (樹種名) 基準収穫量設定経過表 (着果数悉皆調査野帳・農家申告着果数抜取調査野帳)

提出期限 (平成 年 月 日)

受付年月日 (平成 年 月 日)

共済事故等による種別	半相殺暴風雨方式	半相殺ひょう害方式	半相殺凍霜害方式	半相殺暴風雨・ひょう害方式	半相殺暴風雨・ひょう害・凍霜害方式																			
	樹園地暴風雨方式	樹園地ひょう害方式	樹園地凍霜害方式	樹園地暴風雨・ひょう害方式	樹園地暴風雨・ひょう害・凍霜害方式																			
類区分	樹園地の地名 ※	細区分	品種	樹齢	引受面積	引受本数	標準収穫量 ①	申告着果数等 ※②	基準着果数 (○印)				農家申告着果数抜取調査を行う場合の樹園地 (○印)	摘果終了時の着果数調査による着果数③	申告着果数又は農家申告着果数抜取調査の結果 修正率 ⑥=⑤/④×100	着果数 ⑦=②又は②×⑥	摘果終了時前の災害を勘案した着果数調整係数⑧	平均果実重 ⑨	着果数		決定着果数 ⑩又は⑪のいずれか大きい数値	基準収穫量 ⑬=⑫×⑨	調整割合 ⑭=⑬/①	備考
									決定着果数										着果数調査による着果数⑩=(③又は⑦×⑧)=①/⑨					
									年産	年産	年産	年産												
類		群		年	a	本	kg	粒	粒	粒	粒	粒		粒	%	粒		g	粒	粒	粒	kg		
		小計						④						⑤										
		小計						④						⑤										
		計																						
		小計						④						⑤										
		計																						
合		計																						

(A4判 横)

(農家の記入についてのお願い)

- ※印を付した欄に記入の上お願いした期日までに提出して下さい。
- 「申告着果数等」欄は、共済に加入しているすべての樹園地について、本年産の収穫を目的として着果させた仕上げ摘果時の着果数を品種ごとに記入して下さい。

(注意)

- 「共済事故等による種別」欄は、該当方式に○印を付すること。
- 半相殺方式の場合であつて、摘果終了時の着果数調査を農家申告着果数抜取調査の方法により行う場合は、摘果が終了する時までにこの経過表を引受組合員等に配布し、すべての樹園地について※印のついた欄に記入させ、所定の期日までに提出させること。なお、この場合、必要事項について組合等が記入して、この用紙を組合員等に配布しても差し支えない。
- 「基準着果数」欄の決定着果数は損害評価要綱第2章第1の2の(1)のイにより決定された着果数及びウにより見直された着果数を記入し、「小計」欄のうち最大の着果数に○印を付すること。
- 「平均果実重」欄は、損害評価要綱第2章第1の2の(2)の方法により算定した平均果実重を記入すること。
- 修正率は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。着果数及び基準収穫量は、小数点以下第1位を四捨五入して整数位まで記入すること。

(様式例収第2号の3)

平成 年産 収穫共済 全相殺方式 (樹種名) 基準収穫量設定経過表

共済事故等 による種別																						共済 番号			組合員 等氏名						
類	細	年産			年産			年産			年産			※ 年産			4か年中中庸2か年平均			伸率	調整	10a当たり	引受	標準収	高接ぎ及び	決定標	品質	品質方式			
区	区	結果	収穫量	10aあたり	結果	収穫量	10aあたり	結果	収穫量	10aあたり	結果	収穫量	10aあたり	結果	収穫量	10aあたり	結果	収穫量	10aあたり	⑦	⑧	⑨	⑩= ⑧ ² ⑦	伸率	標準収穫量	面積	標準収	高接ぎ及び	決定標	品質	品質方式
分	分	樹面 積⑦	①	①/⑦	樹面 積⑦	②	②/⑦	樹面 積⑧	③	③/⑧	樹面 積⑨	④	④/⑨	樹面 積⑩	⑤	⑤/⑩	樹面 積⑪	⑥	⑥/⑪	①~④	②~⑤	③~⑥	⑩= ⑧ ² ⑦	伸率	⑫=⑧×(⑩ 又は⑪)	⑬	⑭=⑬× 正係数⑮	⑯=	⑰	⑱×⑲	
類	群	a	kg	kg	a	kg	kg	a	kg	kg	a	kg	kg	a	kg	kg	a	kg	kg	kg	kg	kg			kg	a	kg		kg		kg
	計																														
類																															
	計																														
合	計																														
類	細	変動があると認められたとき										基準収穫量		調整割合		備 考															
区	区	変 動 幅				変動幅の		変動率		変動係数		⑳=㉑×㉒又は ㉑×㉒ Σ(㉑×㉒×㉓×㉔)																			
分	分	⑲	㉑	㉒	㉓	4中2平均	㉔=㉑/2	㉕=表1-㉖	㉖=表1-㉗																						
		= ㉑-㉒	= ㉑-㉒	= ㉑-㉒	= ㉑-㉒	㉓	㉔	㉕	㉖																						
類	群	kg	kg	kg	kg	kg					kg																				
	計																														
類																															
	計																														
合	計																														

(A4判 横)

(注意)

- 「共済事故等による種別」欄は、該当方式名を記入すること。
- ※印のついた欄は、当該年産の前年産の実績を記入すること。
- 「調整伸率」欄は、「伸率」欄が過少か過大と認められる場合、収穫量の実績、樹齢等を勘案して設定すること。
- 「高接ぎ及び樹体の損傷等による修正係数」及び「変動係数」欄は、修正のない場合は1.00とすること。
- 伸率、調整伸率、高接ぎ及び樹体の損傷等による修正係数、変動率、変動係数、品質指数及び調整割合は、小数点以下第4位を四捨五入して小数点以下第3位まで記入すること。

(様式例第2号の4)

平成 年産 収穫共済 災害収入共済方式 (樹種名) 基準収穫量設定経過表

																共済 番号			組合員 等氏名			
年産			年産			年産			年産			※ 年産			4か年中中庸2か 年平均		伸率 ⑧=⑦/ ⑥	調整 伸率 ⑨	推定10a当 たり収穫量 ⑩=⑦×(⑧ 又は⑨)	引受 面積 ⑪	推定収穫 量 ⑫=⑩×⑪	高接ぎ及び 樹体の損傷 等による修 正係数⑬
結果 樹面 積⑦	収穫量 ①	10aあたり 収穫量①= ①/⑦	結果 樹面 積⑦	収穫量 ②	10aあたり 収穫量②= ②/⑦	結果 樹面 積⑦	収穫量 ③	10aあたり 収穫量③= ③/⑦	結果 樹面 積⑦	収穫量 ④	10aあたり 収穫量④= ④/⑦	結果 樹面 積⑦	収穫量 ⑤	10aあたり 収穫量⑤= ⑤/⑦	⑥ ①～④	⑦ ②～⑤						
a	kg	kg	a	kg	kg	a	kg	kg	a	kg	kg	a	kg	kg	kg	kg			kg	a	kg	

変動があると認められたとき							決定推定 収穫量 ⑭=⑫×⑬× ⑯	品質 指数 ⑰	基準収穫量 ⑱=⑰×⑲	調整割合 ⑳=⑧又は ㉑)×㉒	備 考
変 動 幅				変動幅の 4中2平均 ㉓	変動率 ㉔= ㉔/2 ㉕	変動係数 ㉖= 表1+㉗ 裏1-㉗					
⑭ = ②-①	⑮ = ③-②	⑯ = ④-③	⑰ = ⑤-④								
kg	kg	kg	kg	kg			kg		kg		

(A4判 横)

(注意)

- ※印のついた欄は、当該年産の前年産の実績を記入すること。
- 「調整伸率」欄は、「伸率」欄が過少か過大と認められる場合、収穫量の実績、樹齢等を勘案して設定すること。
- 「高接ぎ及び樹体の損傷等による修正係数」及び「変動係数」欄は、修正のない場合は1.00とすること。
- 「伸率」、「調整伸率」、「高接ぎ及び樹体の損傷等による修正係数」、「変動率」、「変動係数」、「品質指数」及び「調整割合」は、小数点以下第4位を四捨五入して小数点以下第3位まで記入すること。

(様式例収第3号)

基準収穫量設定指数表

園地条件指数		肥培管理指数		隔年結果指数		
特 に 良 い		特 に 良 い		表 年	かなりある	
良 い		良 い			ややある	
平均的園地	1.0	平均的肥培管理	1.0	隔年結果なし		1.0
悪 い		悪 い		裏 年	ややある	
特 に 悪 い		特 に 悪 い			かなりある	

(注意)

1. 引受要綱第2章第1節第1の3の(2)により作成した年産別標準収量表の要因ごとに作成すること。
2. 園地条件指数…当該標準収量表設定の基礎となつた平均的園地条件の樹園地の指数を1.0とし、園地条件の良否の程度別に上下各2段階、全体で5段階の指数を作成すること。
3. 肥培管理指数…当該標準収量表設定の基礎となつた平均的肥培管理の指数を1.0とし、肥培管理の良否の程度別に上下各2段階、全体で5段階の指数を作成すること。
4. 隔年結果指数…当該標準収量表設定の基礎となつた隔年結果現象による収穫量の状態(隔年結果による収量変動がないものとみなした場合における収穫量の状態)の指数を1.0とし、隔年結果による収穫量の変動の程度別に表年の場合に適用する指数を2段階、裏年の場合に適用する指数を2段階、全体で5段階の指数を作成すること。

(様式収第4号の1)

平成 年産 収穫共済 半相殺方式・全相殺方式 (樹種名) 基準収穫量設定結果報告書

第 号
平成 年 月 日

県(都道府)農業共済組合連合会
会長理事 殿

市町村農業共済組合
組合長理事 印
市町村長 印

果樹共済損害評価要綱第2章第4(又は第6の1)の規定により、下記のとおり報告します。

共済事故等 による種別									
類区分	引受戸数 ①	引受面積 ②	標準収穫量 ③	基準収穫量 ④	平均調整割合 ⑤=④/③×100				
類	戸	a	kg	kg	%				
類									
類									
類									
合計	(延) (実)								
区分	調整割合別戸数及び戸数率								
	0.7未満	0.7~0.8	0.8~0.9	0.9~1.0	1.0~1.1	1.1~1.2	1.2~1.3	1.3以上	計
類	戸 (. %)	戸 (. %)	戸 (. %)	戸 (. %)	戸 (. %)	戸 (. %)	戸 (. %)	戸 (. %)	戸 (100.0%)
類	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(100.0%)
類	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(100.0%)
類	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(100.0%)
合計	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(100.0%)

4部(控、連合会、都道府県、農林水産省)

(A4判 縦)

(注意)

- 「共済事故等による種別」欄は、該当方式名を記入し、それぞれ別葉に作成すること。
- 「引受戸数」欄、「引受面積」欄及び「標準収穫量」欄は、「引受通知書」(引受要綱様式第9号)から転記すること。
- 「基準収穫量」欄及び「調整割合別戸数及び戸数率」欄の調整割合別戸数は、「基準収穫量設定経過表」(様式例第2号の1、同号の2又は同号の3)の「基準収穫量」欄及び「調整割合」欄より集計し、作成すること。
- 「平均調整割合」は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。
- 果樹共済システムにより作成された磁気データについては、別途送信するものとする。
- 特定組合において本書を作成する場合は、宛先を「農林水産省経営局長」、提出部数を「3部(控、都道府県、農林水産省)」とし、2を次のように読み替えるものとする。
 - 「引受戸数」欄、「引受面積」欄及び「標準収穫量」欄は、「保険引受通知書」(引受要綱様式第12号)から転記すること。

(様式例第4号の2)

平成 年産 収穫共済 災害収入共済方式 (樹種名) 基準収穫量設定結果報告書

第 号
平成 年 月 日

県(都道府)農業共済組合連合会

会長理事

殿

市町村農業共済組合

組合長理事

㊤

市町村長

㊤

果樹共済損害評価要綱第2章第4(又は第6の1)の規定により、下記のとおり報告します。

引受戸数 ①		引受面積 ②		基準収穫量 ③		平均単位当たり基準収穫量 ④=③／②		
戸		a		kg		kg		
品質指数別戸数及び戸数率								
0.7未満	0.7～0.8	0.8～0.9	0.9～1.0	1.0～1.1	1.1～1.2	1.2～1.3	1.3以上	計
戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(100.0%)
調整割合別戸数及び戸数率								
0.7未満	0.7～0.8	0.8～0.9	0.9～1.0	1.0～1.1	1.1～1.2	1.2～1.3	1.3以上	計
戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(. %)	(100.0%)

4部(控、連合会、都道府県、農林水産省)

(A4判 縦)

(注意)

- 「引受戸数」欄及び「引受面積」欄は、「引受通知書」(引受要綱様式第10号)から転記すること。
- 「基準収穫量」欄、「品質指数別戸数及び戸数率」欄及び「調整割合別戸数及び戸数率」欄の品質指数別戸数及び調整割合別戸数は、「基準収穫量設定経過表」(様式例第2号の4)の「基準収穫量」欄、「品質指数」欄及び「調整割合」欄より集計し、作成すること。
- 果樹共済システムにより作成された磁気データについては、別途送信するものとする。
- 特定組合において本書を作成する場合は、宛先を「農林水産省経営局長」、提出部数を「3部(控、都道府県、農林水産省)」とし、1を次のように読み替えるものとする。
 - 「引受戸数」欄及び「引受面積」欄は、「保険引受通知書」(引受要綱様式第13号)から転記すること。

(様式第4号の3)

平成 年産 収穫共済 樹園地単位方式 (樹種名) 基準収穫量設定結果報告書

第 号
平成 年 月 日

県(都道府)農業共済組合連合会
会長理事 殿

市町村農業共済組合
組合長理事
市町村長

印
印

果樹共済損害評価要綱第2章第4(又は第6の1)の規定により、下記のとおり報告します。

共済事故等 による種別									
類区分	引受戸数 ①	引受樹園地 数 ②	引受面積 ③	標準収穫量 ④	基準収穫量 ⑤	平均調整割合 ⑥=⑤/④×100			
類	戸	園地	a	kg	kg	%			
類									
類									
類									
合 計	(延) (実)	(延) (実)							
部 分	調整割合別樹園地数及び樹園地数率								
	0.7未満	0.7~0.8	0.8~0.9	0.9~1.0	1.0~1.1	1.1~1.2	1.2~1.3	1.3以上	計
類	園地 (. %)	園地 (. %)	園地 (. %)	園地 (. %)	園地 (. %)	園地 (. %)	園地 (. %)	園地 (. %)	園地 (100.0%)
類	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(100.0%)
類	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(100.0%)
類	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(100.0%)
合 計	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(.)	(100.0%)

4部(控、連合会、都道府県、農林水産省)

(A4判 縦)

(注意)

- 「共済事故等による種別」欄は、該当方式名を記入し、それぞれ別葉に作成すること。
- 「引受戸数」欄、「引受樹園地」欄、「引受面積」欄及び「標準収穫量」欄は、「引受要綱様式第9号」から転記すること。
- 「基準収穫量」欄及び「調整割合別樹園地数及び樹園地数率」欄の調整割合別樹園地数は、「基準収穫量設定経過表」(様式例第2号の1又は同号の2)の「基準収穫量」欄及び「調整割合」欄より集計し、作成すること。
- 「平均調整割合」は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。
- 果樹共済システムにより作成された磁気データについては、別途送信するものとする。
- 特定組合において本書を作成する場合は、宛先を「農林水産省経営局長」、提出部数を「3部(控、都道府県、農林水産省)」とし、2を次のように読み替えるものとする。
 - 「引受戸数」欄、「引受樹園地」欄、「引受面積」欄及び「標準収穫量」欄は、「保険引受通知書」(引受要綱様式第12号)から転記すること。

(様式例第5号の1)

平成 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式 (樹種名) 損害評価野帳 (減収総合悉皆調査等 (実測調査)・抜取調査)

共済事故等による種別		組合員等氏名		評価地区名		組合等名		階層区分名		野帳枚数		枚のうち		枚																															
共済番号		引 受 状 況		損害通知 (定期報告)		栽植本数		着果樹本数 (区画数)		評価年月日		日数差		評価者印																															
類区分	樹園地の地名地番	細区分	品 種	樹 齢	引受面積	引受本数	災害の種類	災害発生年月日	見込収穫量	収穫開始予定年月日(A)	本	本(区画)	①	②	③-①																														
類		群		年	a	本		年月日	kg	年月日	本	本(区画)	年月日	年月日	日																														
果 実 数 調 査	標本樹 (区画) 番号					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	n																										
	全数調査の場合	果 実 数 ②					粒																																						
		うち調整果実数③					粒																																						
		樹体別の着果主枝、中枝、群の数(n)④																																											
		着果標本 (主枝、中枝、群の果実数)	No. 1	果 実 数				粒																																					
				うち調整果実数				粒																																					
		No. 2	果 実 数				粒																																						
			うち調整果実数				粒																																						
		計	果 実 数				粒																																						
			うち調整果実数				粒																																						
平均		果 実 数 ⑤				粒																																							
	うち調整果実数 ⑥				粒																																								
	標本の果実数⑦=④×⑤					粒																																							
	うち標本の調整果実数⑧=④×⑥					粒																																							
果 実 重 調 査	秤量調査の場合					尺 度 適 用 調 査 の 場 合																																							
	調査果実数 ⑨					粒	標本果実番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	n	計	平均果実重 ⑩=⑨/n	日数差の応じた果実重 ⑪=⑩×⑫	修正平均果実重 ⑬=⑩×⑭												
	総重量 ⑩					g	横 径	mm																																					
	平均果実重 ⑪=⑩/⑨					g	縦 径	mm																																					
	日数差に応じた果実重肥大推定指数⑫						果実重	g																																					
修正平均果実重⑬=⑪×⑫					g	果実重	g																																						
標本樹 (区画) 平均果実数⑭=Σ②又はΣ⑦/n					粒	標本樹 (区画) 平均調整果実数 ⑮=Σ③又はΣ⑧/n					粒	調整係数 ⑯					標本樹 (区画) 平均収穫果実数 ⑰=⑭-⑮+⑯×⑰					粒	園地の収穫果実数 ⑱=⑰×⑰					粒	見込収穫量⑲-⑱×⑲又は⑲					kg	分割減収量					kg	分割事由				

(A 4 判 横)

(注意)

- 「共済事故等による種別」欄は、該当方式名を記入すること。
- 「引受状況」欄は、「加入申込書」(引受要綱様式例第5号)及び「基準収穫量設定経過表」(様式例第2号の1)から、「損害通知」欄は、「組合員等損害通知書(定期報告)」(様式例第1号の1)からそれぞれ転記すること。
- 「着果樹本数(区画数)」欄は、この現地評価の時点で着果している樹体数(又は区画数)を記入すること。
- 「果実重調査」欄の「秤量調査の場合」の項は果実重の調査を秤量の方法により行った場合の結果を、同欄の「尺度適用調査の場合」の項は果実重の調査を果実重推定尺度を適用して行った場合の結果を記入すること。
- 「日数差の応じた果実重肥大推定指数」欄は、「日数差」欄の日数を、現地調査要領の規定に基づき、特定組合以外の組合等にあつては連合会から通知のあつた「果実重肥大推定指数による平均果実重の修正方法」、特定組合にあつては設定した「果実重肥大推定指数による平均果実重の修正方法」により算定した指数に適用して得た指数を記入すること。
- くりの果実重調査について尺度適用調査の方法により行う場合は、横径又は縦径のいずれかの欄にきゆう重を記入すること。
- 半相殺方式の場合であつて、この野帳を用いて農家申告収穫量抜取調査を行う場合は、「組合員等損害通知書」(様式例第1号の1)により組合員等からあらかじめ被害樹園地ごとの損害通知を求め、当該被害樹園地のうち農家申告収穫量抜取調査対象樹園地について、この野帳により調査を行い、その調査結果を様式例第1号の1の「見込収穫量」欄に転記して農家申告収穫量を修正すること。
- 「果実数」、「調整果実数」、「果実重」、「見込収穫量」及び「分割減収量」は、小数点以下第1位を四捨五入して整数位まで記入すること。

(様式例収第5号の2)

平成 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式（樹種名 ）組合員等損害通知書（定期報告）・損害評価野帳（特定危険悉皆調査等（実測調査）・抜取調査）
（摘果終了時及び収穫期：着果数調査）

提出期限（平成 年 月 日）

受付年月日 (平成 年 月 日)

[illegible]

(A 4判 横)

(農家の記入についてのお願い)

- 1 共済事故により、類区分ごとに共済金の支払対象となる損害（半相殺方式にあつては2割、樹園地単位方式にあつては3割を超える損害）があると思われる場合は、「共済事故等による種別」欄の該当方式に○印を付し、その共済事故を受けた樹園地のみにつて、※印を付した項目に記入の上、お願いした期日までに提出して下さい。
- 2 「災害の種類」欄は、例えばひょう害、暴風雨などと具体的に記入して下さい。「申告落果数」欄は、収穫期前における着果数を記入して下さい。
- 3 類区分により収穫期が相当異なる場合は、その類区分ごとに損害通知を分けて行つても差し支えありません。

(注意)

- 1 見回り調査等から被害があつたと思われる組合員等が判明している場合は、組合等が「引受状況」欄について、「加入申込書」(引受要綱様式例第5号)から転記して、この用紙を組合員等に配布してもよい。
- 2 「災害発生回数」欄は、摘果終了時前と摘果終了時後収穫期前に分けてそれぞれの間に発生した回数の合計を記入すること。
- 3 「着果数調査の結果」の「計」欄の「(④粒)」は、標本樹のうち歩合調査に係る標本樹の着果数の合計値を記入すること。
- 4 半摘収方式の場合であつて、摘果終了時の着果数調査を農家申告着果数等抜取調査の方法により行う場合は、この様式に準じて行うこと。
- 5 修正率及び分割減収数推定率は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

(様式例㊦第5号の3)

平成 年産 收穫共済 (樹種名) 全相殺等樹園地調査野帳 (抜取調査野帳)

共済事故等による種別						類区分		類						
組合等名		評価地区名		共済番号		組合員等氏名		評価年月日 年 月 日		評価者印				
災害の種類						災害発生年月日		災害の状況						
引受状況							樹園地ごとの基準収穫量の配分			分割割合				分割減収量
樹園地の地名地番	細区分	品種	樹齢	引受面積	引受本数	基準収穫量①	見込収穫量(配分比②)	配分基準収穫量③=①×②	園地の状況	肥培管理状況	防除管理状況		合計④	⑤=③×④
	群		年	a	本	kg	kg (%)	kg						kg
	計						()							
							()							
	計						()							
計							(100%)							
							(100%)							
							(100%)							
	合 計						(100%)							

(A 4判 横)

(注意)

- 1 この野帳は、全相殺方式又は災害収入共済方式について行う全相殺等樹園地調査に用いること。
この場合、全相殺方式にあつては共済事故等による種別ごと及び類区分ごと、災害収入共済方式にあつては収穫共済の共済目的の種類ごとに取りまとめるものとし、「共済事故等による種別」欄は該当方式名を記入すること。
- 2 「引受状況」欄及び「見込収穫量」欄は、「加入申込書」（引受要綱様式例第5号）及び「基準収穫量設定経過表」（様式例~~収~~第2号の3又は同号の4）からそれぞれ転記すること。
- 3 「配分基準収穫量」欄は、組合員等ごと及び細区分ごとの基準収穫量を「見込収穫量」の「配分比」により配分した数量を記入すること。
「配分基準収穫量」欄の数値が引受面積又は引受本数からみて補正する必要がある場合は、補正後の数値を記入すること。なお、この場合、補正後の合計数値は、「基準収穫量」欄の合計値と一致させること。
また、品質方式及び災害収入共済方式にあつては品質指数を除外した数量とする。

(様式例第5号の4)

平成 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 (樹種名) 損害評価野帳取りまとめ表 (特定危険悉皆調査等・抜取調査)

共済事故等による種別			共済番号			組合員等氏名			評価地区名			組合等名								
引 受 状 況									植栽本数			着果樹本数			平均果実重 ①					
類区分			樹園地の地名地番			細区分			品 種			樹 齢			引受面積			引受本数		
類			群			年			a			本			本			g		
発 芽 (開 花) ～ 摘 果 終 了 時 以 前									摘 果 終 了 時 ～ 収 穫 期											
災害発生回数	災害の種類	災害発生年月日	減収歩合	実減収歩合	摘果終了時の総着果数②	摘果終了時の標準樹(区画)平均		総減収果実数⑤=②×(③/④-1)	減収果実数⑥=⑤×(c)	共済事故発生回数	共済事故の種類	共済事故発生年月日	落果数調査			着果数調査				
						適正着果数③	着果数④						総落果数⑦	落果被害果実数⑧	落果調整果実数⑨	総着果数⑩	着果被害果実数⑪	着果調整果実数⑫		
第1回		年月日	①	%	⑥=①	%	粒	粒	粒	粒	第1回		年月日	粒	粒	粒	粒	粒	粒	
第2回			③		⑥= (100-③) × ④					第2回										
第n回										第n回										
計			総減収歩合(A)																	
			共済事故による減収歩合(B)																	
			比率(C)=(B)/ (A)×100																	
特定共済被害果指数⑬	特定共済調整果指数⑭	消失着果被害果実数⑮=①×⑬	消失着果調整果実数⑯=②×⑭	調整係数⑰	消失減収果実数⑱=⑤+⑥×(1-⑰)	落果減収果実数⑲=Σ⑧+Σ⑨×(1-⑰)	着果減収果実数⑳=⑩+⑪×(1-⑰)	見込減収果実数㉑=⑥+⑧+⑨+⑩	見込減収量㉒=㉑×①	分割減収量										
			粒			粒			粒			粒			kg			kg		

(A 4 判 横)

(注意)

- この取りまとめ表は、「損害評価野帳 (特定危険悉皆調査等)」(様式例第1号の2、同号の2の(1)、同号の2の(2)又は第5号の2)から転記し、取りまとめること。
- 「共済事項等による種別」欄は、該当方式名を記入すること。
- 「平均果実重」欄は、「基準収穫量設定経過表」(様式例第2号の2)から転記すること。
- 「総減収果実数」欄の数値がマイナスとなる場合は、0と記入すること。
- 摘果終了時に着果がまったくみられなかった場合の総減収果実数は、損害評価要綱第2章第1の2の(1)の着果数を記入すること。
- 特定共済被害果指数及び特定共済調整果指数は、現地調査要領の規定に基づき、特定組合以外の組合等にあつては連合会から通知のあつた指数を、特定組合にあつては設定した指数を記入すること。
- 果実数は、小数点以下第1位を四捨五入して整数位まで記入すること。

(様式例第6号の1)

平成 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式 (樹種名) 組合等抜取調査野帳取りまとめ表 (平均修正率計算表)

共済事故等による種別				類区分	類	組合等名		評価地区名			階層区分名		
共済番号	組合員等	樹園地の	引受面積	基準収穫量	減収総合悉皆調査等の結果				抜取調査の結果				
	氏 名	地名地番		①	見込収穫量 ②	分割減収量 ③	実収穫量 ④＝②＋③	見込収穫量 ⑤	分割減収量 ⑥	実収穫量 ⑦＝⑤＋⑥			
			a	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg		kg	
合 計				Σ①	Σ②		Σ④	Σ⑤		Σ⑦			

平 均 減 収 率		見込収穫量修正率	見回り調査により調整する場合		決定見込収穫量修正率
減収総合悉皆調査等の結果	抜取調査の結果	⑩ = $\frac{\Sigma ⑤}{\Sigma ②} \times 100$	評価地区内の共済金支払の対象となつた 全組合員等の被害樹園地の引受面積合計 ⑪	調整率 ⑫	⑬ = ⑩ × ⑫
⑧ = $\frac{\Sigma ① - \Sigma ④}{\Sigma ①} \times 100$	⑨ = $\frac{\Sigma ① - \Sigma ⑦}{\Sigma ①} \times 100$				
%	%	%	a	%	%

(A4判 横)

(注意)

- 「共済事故等による種別」欄は、該当方式名を記入すること。
- 第3章第3節第1の1の(1)のアの(ウ)の④のただし書によつて階層別に抜取調査を行つた場合は、階層別ごとに別業とすること。
- 「平均減収率」、「見込収穫量修正率」、「調整率」及び「決定見込収穫量修正率」は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

(様式例第6号の2)

平成 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式 (樹種名) 組合等抜取調査野帳取りまとめ表 (平均修正率計算表)

共済事故等による種別		類区分		類	組合等名		評価地区名	階層区分名		
共済番号	組合員等	樹園地の	引受面積	基準収穫量	特定危険悉皆調査等の結果			抜取調査の結果		
	氏 名	地名地番		①	見込減収量 ②	分割減収量 ③	実減収量 ④＝②－③	見込減収量 ⑤	分割減収量 ⑥	実減収量 ⑦＝⑤－⑥
			a	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
合 計				Σ①	Σ②		Σ④	Σ⑤		Σ⑦

平 均 減 収 率		見込減収量修正率	見回り調査により調整する場合		決定見込減収量修正率
特定危険悉皆調査等の結果	抜取調査の結果		評価地区内の共済金支払の対象となつた 全組合員等の被害樹園地の引受面積合計	調整率	
⑧ = $\frac{\Sigma ④}{\Sigma ①} \times 100$	⑨ = $\frac{\Sigma ⑦}{\Sigma ①} \times 100$	⑩ = $\frac{\Sigma ⑤}{\Sigma ②} \times 100$	⑪	⑫	⑬ = ⑩ × ⑫
%	%	%	a	%	%

(A4判 横)

(注意)

- 「共済事故等による種別」欄は、該当方式名を記入すること。
- 第3章第3節第1の1の(2)のアの(ウ)の④のただし書によつて階層別に抜取調査を行つた場合は、階層別ごとに別業とすること。
- 「平均減収率」、「見込減収量修正率」、「調整率」及び「決定見込減収量修正率」は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

(様式例⑩第6号の3)

平成 年産 収穫共済 (樹種名) 全相殺等樹園地抜取調査野帳取りまとめ表

共済事故等による種別				類区分		類		評価地区名				組合等名				
共済 番号	組合員等 氏 名	引受 面積	基 準 収穫量	全相殺等樹園地調査の結果						全相殺等樹園地抜取調査の結果						備 考
				分 割 割 合					分 割 減収量	分 割 割 合					分 割 減収量	
				園地の 状 況	肥培管 理状況	防除管 理状況		合 計		園地の 状 況	肥培管 理状況	防除管 理状況		合 計		
		a	kg						kg						kg	
合計(加重平均)									㊦						㊧	㊧/㊦×100 %

(A 4 判 横)

(注意)

- この表は、全相殺方式及び災害収入共済方式について、全相殺等樹園地抜取調査等の結果を組合員等ごとに取りまとめて記入すること。
この場合、全相殺方式にあつては共済事故等による種別ごと及び類区分ごと、災害収入共済方式にあつては収穫共済の共済目的の種類ごとに取りまとめるものとし、「共済事故等による種別」欄は該当方式名を記入すること。
- 「引受面積」欄は「加入申込書」(引受要綱様式例第5号)から、「基準収穫量」欄は「基準収穫量設定経過表」(様式例⑩第2号の3又は同号の4)から転記すること。
- 「全相殺等樹園地調査の結果」欄は「全相殺等樹園地調査野帳」(様式例⑩第5号の3)から、「全相殺等樹園地抜取調査の結果」欄は「全相殺等樹園地抜取調査野帳」(様式例⑩第5号の3)から転記すること。
- 「②/①×100」欄は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。